



お元気ですか！  
志村 たかよし です

第761号 2015年10月18日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1  
電話 3546-5563  
FAX 3546-9570

# 「五輪施設予定地」「臨海部開発」を検証 臨海都民連主催「臨海見学バスツアー」



30年かけて生い茂った大量の樹木を切り倒して東京五輪アーチェリー施設を作る計画がある夢の島公園

9月26日、臨海部開発問題を考える都民連絡会（臨海都民連）主催の第12回「都政の聖域『臨海部開発』を検証する臨海部見学ツアー」が開催されました。  
膨大な都民の税金をつぎ込んで、様々な開発計画が進む臨海部の現場を視察することができました。

## 盛り沢山の見学場所

見学コースは、

- ← 豊洲駅出発
- ← 豊洲再開発地区
- ← 晴海オリンピック選手村予定地
- ← 晴海大橋・首都高速晴海線工事
- ← 豊洲新市場建設工事
- ← 有明北埋立地（バレーボール）
- ← 有明テニスの森公園（テニス）
- ← 台場（トライアスロン）
- ← 青海フロンティアビル
- ← 辰巳の森海浜公園（競泳、飛び込み、シンクロ、水球）
- ← 夢の島公園（アーチェリー）
- ← 海の森周辺（ボート、カヌー・マウンテンバイク、総合馬術、



晴海大橋に挟まれる首都高速晴海線（工事中）

クロスカントリー

← 臨海道路南北線計画路線

← 臨海トンネル

← 城南島 地盤沈下状況

← 大井中央海浜公園（ホッケー）

← レインボーブリッジ

豊洲駅前 解散

というもので、臨海都民連の矢野政昭さんから現地や移動するバスの中でユーモアを交えたわかりやすい説明をしていただきました。

## 大企業の食い物にされている

### 臨海部開発

いま東京湾沿いの臨海部は、膨大な都民の税金をつぎ込んで、様々な開発計画が進んでいます。

### 晴海選手村予定地

都用地なのに公的住宅の建設計画がなく民間デベロッパー（開発業者）の利益を生み出すための計画です。

### 首都高速晴海線工事（上写真）

豊洲に出入口がある首都高速晴海線を晴海まで延伸させるために、豊洲〜晴海のわずか1・2kmに約250億円（当初予算98億円）かけて晴海大橋と並んだ橋と晴海出入口を作る工事です。工事費は、さらに跳ね上がることでしよう。

### 豊洲新市場建設工事

大企業のための「流通センター」をつくるため、土壌汚染の深刻な問題もクリアせず、関係者の要望・意見に耳を貸さず強引に進めています。



ビーチバレーで賑わう台場。遊泳は禁止です。

### 夢の島公園（一面写真）

夢の島公園で30年かけて育った大量の樹木を切り倒して東京五輪のアーチェリー施設を作る計画があります。

### 計画はまだ他にも…

そのほか、都民のスポーツ施設を縮小してしまう競技場建設などへの批判が高まり、見直しせざるをえない施設計画もあります。

また、過大な東京港での荷役の拡大を想定して大規模なコンテナ埠頭の建設計画やオリンピックに便乗し

た大型客船のための新ターミナル建設計画、それらに必要なとして新たな道路・トンネルの建設強行など、驚くべき計画が、次から次と持ち上がっています。今回、その現場をぶさに見察しました。

### 「税金の使われ方がひどい」と参加者の声

参加者からは「当初予算の数倍になっている道路があることにびっくりした。私たちの税金がこんな使われ方でいいのか、考えさせられる見学会でした」「オリンピック施設で、既存の施設を活用せず、30年も育ってきた貴重な樹木を伐採し、新たな施設を作るなど、環境破壊がひどいことにびっくりした」「都民の声と運動の広がり、当初計画の変更をさせていることはすごい」「臨海部の変化は驚きだ。目立つのは、超高層ビルの建設が急ピッチで進み、囲い込まれている感じが強まってきた」など、多様な意見を聞くことができました。

「意見」「要望など、お気軽に「連絡ください」(contact@world)